



佐々木中学校だより

E-mail sasaki-jhs@inet-shibata.or.jp

電話 0254 (27) 2505

教育目標

よく考え、進んで

実践する生徒

君たちはどう生きるか

3月は別れと出会いの月。誰もが来年度に向けて、新たな目標を立てる時期でもあります。

1937年(昭和12年)に発刊された『君たちはどう生きるか』(吉野源三郎 著)の発行部数が100万部を越えたという記事が、新聞に載っていました。この物語は、中学2年生のコペル君(「地動説」を唱えたコペルニクスにちなんで名付けられました)とそのおじさんとの交流を描いています。主人公のコペル君は、学校生活や友人関係などで思い悩んだり、友人との楽しい時間を過ごしたりしながら毎日を過ごしています。そんなコペル君の日常と共に、コペル君のおじさんがコペル君へのアドバイスを書き記す「ノート」を中心に、物語が進みます。コペル君が友人との約束を守れず、「みんなにとっても申し訳ないことをしてしまった。」と悩んでいた時に、おじさんはノートに次のように文章を書きます。



3年生 合唱練習中

コペル君、いま君は大きな苦しみを感じています。なぜそれほど苦しまなければならないのか。それはね。君が正しい道に向かおうとしているからなんだ。君が正しい生き方を強く求めているからだ。このノートを最後まで読んでくれば、コペル君、きっと君は、自分を取り戻して新たな一歩を踏み出すことができる。

作詞家やAKB48のプロデューサーの秋元康さんは、次のような感想を述べています。

誰もがコペル君のように、悩みながら生きていて、心の中に「おじさんのノート」を求めています。正解も間違いもない。結果よりも、「私はこう生きたい」と思うことが、自分の生き方を決定していくのかもしれない。

後日、コペル君は、友達が数名の同級生に叱責され、苦しい状況に陥っている姿に遭遇します。その時も結局、友達を助けることができなかった自分の弱さに苦しみ、そのことを友達に謝まねず、悩み、高熱を出し寝込んでしまいます。そこでも、おじさんが次のように励まします。

コペル君。ここは勇気を出さなければいけないんだよ。どんなにつらいことでも、自分のしたことから生じた結果なら、それを耐える覚悟がなければいけないんだよ。君が素直に自分の過ちを認めれば、友達も機嫌を直してくれるかもしれない。ほかのことは考えないで、いま君のすべきことをするんだ。過去のことは、もう何をしても変えることはできない。それよりも、現在のことを考えるんだ。

この場面のテーマとも言える「勇気」について、ボクシングの世界チャンピオン村田諒太さんが次のような感想を述べています。

理想や知識があっても、勇気がなければ何も成し得ることはできない。その局面にたった時にどう生きるべきかを考えさせられました。

コペル君とおじさんとの交流がいくつも繰り返されます。本を読み進めながら、常に心に響いてきたのは、物語の内容以上に、『君たちはどう生きるか』というタイトルでした。タイトルの「どう生きるか」という大きな問いを、周囲からかけられる機会はめったに訪れません。ですが、一年間の区切りの時期にあたる3月から4月にかけての約1ヶ月は、自分の今までの振り返り、将来の新たな目標を立てるよい期間です。このタイトルは少し大きすぎるテーマとも感じられますが、「毎日をどう生きるか」「どんな目標をもって学校生活を過ごすか」を考え続けることが、私たちの日常を豊かにしてくれるということを教えてくれる一冊です。



2月11日(日)、新発田市役所(ヨリネスしばた)札の辻広場において、1年生が佐々木地区の魅力を発信するPR活動に取り組みました。午前10時から正午までの約2時間、地域の魅力を載せたマップと地元産コシヒカリのおにぎりを、来場者に配り、同時に、大型スクリーンで、地域の魅力や佐々木中学校の取組を紹介するスライドショーを上映しました。

今回の活動は、「佐々木地区の魅力を発信することで人と人との交流を生みだそう」という考えから始まりました。

当日は、同会場で「しばたオイスターバー」のイベントが開催されており、朝10時の開会の時には、会場の外にまで長い行列ができるほどの盛会でした。

1年生は、すぐに緊張がほぐれ、会場を訪れる人のところへ積極的に寄っていき、中学生らしい笑顔と元気なあいさつで、「佐々木に遊びに来てください」「佐々木のお米でつくったおいしいおにぎりです。どうぞ食べてください」などと呼び掛けていました。数名の男子が声を揃えて「おにぎり食べてくださーい。」と言いながら、おにぎりを差し出したり、会場の外にまで出て、「こちらで佐々木地区名所マップや佐々木産のお米でつくったおにぎりを振る舞っています。どうぞお入りください。」などと言いながら、通行する方々を呼び込む姿もありました。

昨年11月に行った中間発表会で、助言者としてお招きした後藤さんや五十嵐さん等、そして共に授業を創っていただいたみらいずワークスのみなさんも来場され、「すばらしい活動になりましたね」「学習を積みあげてきたことが、大きな成果を生みましたね。」と話されていました。

嬉しいことに、佐々木地区在住の方がたくさんお見えになり、口々に生徒たちを激励してくださいました。「こいのぼりを取り上げていただいて、また来年もやろうと励みになりました」「改めて自分たちの地域のよさを改めて知った気がします」「佐々木をこんな風にPRしてくれて大感激です」「中学生に刺激され、自分たちも何かやらなきゃという気持ちになったよ」など多くのコメントをいただきました。ありがとうございます。

また、1年生の保護者の皆さんからは、多方面からご協力いただき、共に生徒たちの活動に参加していただきました。心より感謝申し上げます。

また、1年生の保護者の皆さんからは、多方面からご協力いただき、共に生徒たちの活動に参加していただきました。心より感謝申し上げます。



活動を終えた翌週、思いがけない嬉しいお手紙が届きました。

会場に行くと、大勢の人が並んでおり、地域の方も中学生のみなさんがどのような紹介をするのか期待しているように感じました。おいしいおにぎりとおしゃべりを楽しんだ時間がありました。ありがとうございました。佐々木地域はJR白新線が走り、高速道路が通り、越後の山と田園がすぐ目の前にある、環境のよいところですね。中学生生活は、勉強に仲間づくりに、自分の勉強に、一日一日が大切です。自分の目標をもち、いろんな事に挑戦してください。



生徒たちの活動が、こんなにもみなさんに喜ばれたのだと嬉しくなりました。さっそく、2月の全校朝会で話をしました。生徒たちが伝えたかった「佐々木地域のよさ・素晴らしさ」が、この他にもいろいろな形でみなさんに伝わったことを喜んでいきます。

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

今回の「プロジェクト」を通じて感じた「必要な力」

- 会話を弾ませる力（女子M）
- 人に自分の思いを具体的に話す力（男子N）
- 目を見て話す力、笑顔にする力、楽しんでもらえる力（女子H）
- 誰にでも声をかけられる力と質問に答える力（女子R）
- 相手と話が弾むように、人と話し、聴く力（男子S）
- 次に何を言おうか考える力（男子T）
- 協力して物事を考えて、一つにまとめる力（女子G）
- 佐々木を愛する力、自分の思いを人に伝える力（女子M）
- 相手の話にあう別な話を深くできるようなコミュニケーション力（男子Y）
- 自分から動かなきゃ始まらないと思ったので、自分から行動する力（女子T）
- 人と楽しく話しができ、印象を残すことができる力（男子M）
- なるべく短く説明できる力（女子N）



今回の「プロジェクト」で身に付けたいと思った「力」

- 具体的に説得する力、判断力（男子T）
- 人に笑いかける根気（女子W）
- 積極性（自分から行動しないと始まらない）（男子H）
- 自分の意見を述べて、協力してHPを作れる力（女子G）
- 積極的に自分の思いを伝える力（女子M）
- 自分から積極的に動いていく力（女子T）
- 知らない人恥ずかしがらずに話せる力（男子M）
- いろんな人と話すことができる力（女子R）





新潟日報社の取材も受けました。



「佐々木地区名所マップ」では、次のような所や催しを紹介しました。(その一部をお伝えします。)



下奥野にある長願寺です。宗派は浄土真宗で、403年の歴史があり、ご住職はあの有名な鎌倉時代の執権、北条時宗の子孫なのです！大晦日の夜にはお寺にある鐘を誰でも鳴らすことができます。地域の人に大切に守られているお寺のひとつです。



飯島集落で小正月に行われるさいの神です。さいの神は、竹や木の骨組みにワラを積み上げ、正月飾りや書き初めなどを燃やしたり、するめなどを焼いたりして、豊作や豊漁、無病息災を祈る行事です。書き初めを燃やすと字が上手になると言われており、その他、安産や家内安全などにもご利益があるそうです。炎が空高く燃え上がる様子はとても幻想的です。このような伝統行事が残っているのも佐々木のよさの一つです。



太田川沿いにある桜の木です。満開の桜は圧巻です。木立の佇まいもさることながら、太田川の水面上に映っている様子もまた、風情があります。また春の桜だけでなく、冬の雪の景色も素敵です。



太子堂の魅力はなんといっても大迫力の本殿、敷地内に溢れる美しい木々です。太子堂には3体の聖徳太子像が安置されています。そのうち一番古いものは聖徳太子自身の作で、3体作って海に流したもののうち一つが、佐々木にたどり着いたのだと言われています。このような所以で、全国から参拝者が訪れます。

プロジェクトに取り組んだ感想

1年男子 Y

来場した人におにぎりを渡す時、一言は言えたけど、その後は何も言えなかった。でも、マップを手渡した人に「ありがとうございました」と言えたのがよかった。

1年女子 W

マップには佐々木の魅力を詰め込みました。そのマップを約600名に配ることができたのです。鬼塚や太子堂など自分でもよく知らなかった佐々木の素晴らしさを見てもらえた。それだけで、佐々木の知名度は確実に上がったと思う。

1年男子 S

プロジェクトの準備を進めていくうちに、どんどん興味が出てきて、活動終了後には「やってよかった」と思えた。来場した人にも、「どこに行ってみたいと思いましたか」と声をかけることができました。

上記4カ所以外にも「太田川のこいのぼり」、「鬼塚」、「治水公園」、「田園風景」も紹介しました。活動当日に生徒が配布した「名所マップ」は、佐々木中学校ホームページからもご覧いただけます。(ホームページ→「佐々木 PR 大作戦」→「佐々木地区内の名所紹介」へ)

毎日の学習を通して磨かれる感性や表現力

昨年の8月6日に「新潟日報 ジュニア文芸」に掲載された、2年生のWさんの「こわれたソファ」という詩が、この一年、新聞に掲載された中で最も優秀な作品に贈られる「ジュニア文芸年間大賞（詩の部門）」を受賞しました。2月10日に、新潟市にある新潟日報本社メデイアシップで表彰式が行われました。

作品について、新潟日報の選者である月岡一治さんが「ソファが壊れてきたことに気付いて、それを年老いたんだなと思う心。家族のように

いたわる気持ちが、深くて優しいです。」と選評をしていました。Wさんは、「大賞受賞を知ったときは言葉が出ませんでした。これからも自分が書いてみたいと感じたことを書いていきたいです。」と、受賞の喜びを話していました。佐々木中学校は昨年度も短歌部門で3年生が、「ジュニア文芸年間大賞（短歌の部門）」を受賞しており、2年連続での受賞となりました。

ジュニア文芸年間大賞をいただいて

2年 W

「擬人法を用いて詩を作りましょう」と先生に言われて、身の回りにあるものを詠もうと思いました。自宅の居間には、まだ使えるけど、座ると「キイー」と音を立てるソファがあります。それが苦しがっているみたいに聞こえて、そうか、ソファも年老いたんだなと発想しました。

何かの気持ちになって詩や話を書くのは好きです。言葉で気持ちを伝えるのは大事なことで、言葉を大切にしたいです。また書いて送ろうと思います。

2月4日には、2年生のIさんの「皿」という詩が、新潟日報に掲載されました。この他にも、昨年12月、新潟日報読者投稿欄「窓」に、3年HSさんの「政治理解し進んで投票」、3年YRさんの「政治と投票関心もちたい」という意見が、掲載されました。社会科の授業で政治について学習した成果です。生徒の学習成果が、新聞を通して多くの人の目に届けられました。

おめでとう!! 斎藤茂吉ジュニア短歌コンクールで最優秀賞受賞

第15回斎藤茂吉（さいとうもきち）ジュニア短歌コンクールに、全校で応募した結果、全国で三千点以上を超える作品の中から、厳しい選考を経て、2年生のYRさんの作品が、見事、「最優秀賞」に選ばれました。（表彰は、今年5月に山形県上山市の斎藤茂吉記念館で行われます。）

最優秀賞作： 簡単に 「解答見れば」 という母に 2分戦う 僕のプライド

受賞のことば 2年 YR

受賞の知らせを聞いた時は、とてもうれしかったです。普段の家での会話をもとにして、短歌を作ってみたいと考えました。ある日、家で数学の宿題をしていたときに、母にかけられた言葉をきっかけにしました。作り始めたら、あまり時間がかからずに完成することができました。僕自身は、最後の「～僕のプライド」という表現が気に入っています。5月の山形で行われる表彰式に出席することが、今から楽しみです。

おめでとう。

新潟県書き初め大会

で準特選

2年 IS

1年 IM

皿

熱くても冷たくてもがんばっている
なのに落ちてしまったら終わりだ
この子は生と死の境で生きている

(中2・新発田市)

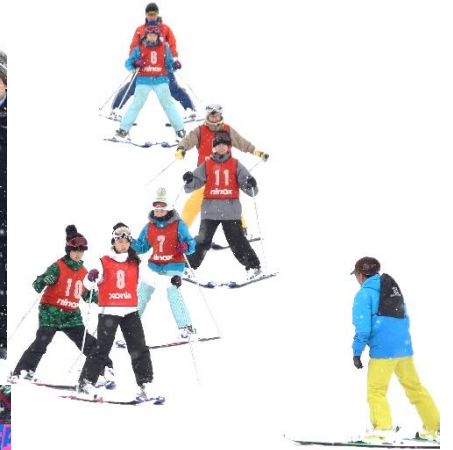
こわれたソファ

僕の家にはこわれたソファがある
最近こわれて今もつかっている
それにすわると「キイー」と
きしんだ音をたてる
その音が僕にはくるしそにきこえた。
もう限界だと言っているようだった。
このソファは年老いたんだなと思った。
だからあまりすわらないようにする。

(8月6日掲載)

天候に恵まれたスキー授業

2月21日(水)に1年生が、26日(月)に2年生が、ニノックススキー場に出かけ、スキー授業を行いました。今年度、新たな取組として行ったスキー授業ですが、生徒たちは楽しく参加していました。転んでも立ち上がり、上手に滑れるようになろうとがんばるたくましい姿があり、午後にはみんなが滑れるようになりました。



1年 OT スキーの楽しさがよく分かりました。最初は初級コースをすべり、慣れてきて中級コースに行きました。中級コースで1回転んだのですが、初級コースよりスリルがあり、転んでも楽しかったです。一番高いところにある上級コースに向かってリフトに乗っていた時、とても高いところまで行くので、ちょっと怖かったです。でも、しっかり最後まですべれてよかったです。スキー教室でいろいろなことが身に付いたのもっとスキーに行きたいです。

1年 TM 私は初めてスキーをしたのですが、午前中はたくさん転びました。しかし、Y先生や指導員のS先生が優しく教えてくださったので、午前中の最後の滑りでは転ばずにすべり降りることができました。午後は、午前よりも楽しく滑ることができました。ウエーブのあるコースはとても楽しかったし、曲がりくねっているコースも転ばずにすべれるようになって充実していました。楽しかったので、また行きたいと思いました。指導員の方の教え方が上手だったので、次回私が初めてスキーをする人に教える機会があったら、今回の指導員の方のように優しく教えてあげたいと思いました。

1年 M 1年振りくらいのスキーでしたが、初級コースを1回練習した後で、2回目からは転ばずに初級コースをすべれるようになりました。ですが、何回もすべっているうちに調子に乗ってしまって、曲がる技術を身に付けていないまま、中級コースにチャレンジして、頭から転がってしまいました。それを改善しようと、午後からの練習では、曲がり方を習いました。でも、今回の教室では、中級コースをすべれるようにはならなかったなので、来年はすべることができるになりたいです。

1年 KR 私は初めてスキーをしました。スキー教室で教わることに全てが初体験で、正直不安でいっぱいでした。でも、いざやってみるととても楽しくて、やっていくうちにどんどん上手にできるようになって、自分のできることが増えてうれしくなりました。今までは、スキーをやりたいと思ったこともスキーのことを考えることもなかったけれど、スキー教室が終わってからは、またやりたいと思うようになりました。来年もあると思うので、その時はもっともっと上手になれるようにがんばります。

2年 SK 初めてスキーをしてみて、最初は滑れるか不安だったけど、分かりやすく教えてもらい、すぐ滑れるようになって嬉しかったです。最後の方には、自分で曲がれるようになり、とても楽しく滑れました。リフトに乗る時は怖かったけど、何回も乗るうちに慣れてきて、リフトからいろんな人を見ることができて楽しかったです。スノボをやっている人がたくさんいて、今度はスノボもやってみたいと思ったし、友達と一緒にスキーをしたいと思いました。

2年 IS 私はスキーを1・2回しかしたことがなくて、ちゃんとできるか不安でした。でも、先生方のおかげですぐに滑れるようになってよかったです。何回もやってすごく楽しかったし、どんどん上手になっていってうれしかったです。1回だけ、少し高い所で滑ったけれど怖くて全然滑れなかったし、2回目に行こうともしませんでした。でも、また行く機会があったら、高い所に行って上手に滑れるようになりたいです。中止になってしまいそうで嫌だったけど、延期になって、スキーをできてとてもいい経験にもなって、いい思い出になりました。

2年 YR 最初は簡単に出来るようになると思っていましたが、想像していたものとは違う感覚でとても難しかったです。何回か転ぶだろうなと思っていましたが、思っていたよりも転ぶ回数多くて、上手に出来ませんでした。ですが、最後に滑ったときは、ノーミスでコースアウトや転ぶこともなく、上手に滑ることができました。

2年 NA 私小学校2年生以来のスキーでずっと楽しみにしていました。ですが、最初は、全然止まれないし、下手になりすぎていて焦ったけど、やっているうちに上達してきてよかったです。お昼休みに雪合戦もできて嬉しかったです。午後からは、くねくね曲がっているコースを滑って、何回も道が分からなくなっていて、コースアウトをしてしまいました。時間が過ぎるのが早く感じました。家族で、また行きたいです。

新発田南高校土木工学科の高校生による課題研究発表会

2月20日（火）に、新発田南高等学校土木工学科の3年生10名が佐々木中学校へ来校しました。佐々木地区自治会からの依頼を受けて、土木工学科のみなさんが今年1年間取り組んできた「海拔調査」について中学生にも分かりやすく説明してくれました。佐々木のコミセンで行った地域のみなさんとの会議の様子、そして、避難場所の位置と距離を明示した「防災ステッカーづくり」、さらに、レベルや三脚などの器具を用いての測定の仕方の実際等、大変興味深い内容でした。「防災」に対する意識が高まった一時間となりました。



佐々木中学校の生徒のみなさんへ

今回は、佐々木中学校で発表の機会を設けていただき、大変ありがとうございました。

プレゼンテーションの中には、専門用語が多くて理解しにくい点が多々あったと思います。発表中は、中学生の皆さんの真剣に聞こうとしている気持ちが伝わってきて、発表している私たちが勇気をもらい、一生懸命になることができたと共に、私たちも成長できたと感謝しています。今後さらに、防災意識の啓発活動が皆さんの協力を得て、広まっていけば大変うれしく思います。最後に、受験を控えた3年生の皆さん、今回は受験勉強で忙しいなか、参加いただきありがとうございました。自分の未来像をしっかりと描き、悔いの無いように、今やれることに一生懸命になり、進路実現に向けて頑張ってください。大変ありがとうございました。

新潟県立新発田南高等学校 土木工学科 3年生

佐々木中学校3年生の感想

男子 YR 新発田南高校のみなさんから防災についての課題発表を聞き、とてもいい学習になりました。実際にレベルと三脚とスタッフという機材を使った測量を体験でき、興奮しました。自分の住んでいるところは災害に強い地域だと思っていましたが、海拔調査の結果を見ると、安全性が決して高くない場所もあり、驚きました。

女子 IA すばらしい発表でした。中学生にもわかりやすい言葉で話してくれて、スクリーン

女子 KH とても聞き取りやすく、画面に書かれていないこともたくさん話してくれて、分かりやすかったです。測量の仕方は大分難しかったけど、佐々木中学校の防災ステッカーも作成してくれて、ありがとうございます。海拔という視点から、佐々木地区の安全なところとそうでないところが分かってよかったです。



「防災ステッカー」をいただきました。

地面の高さ
↓は 海拔 6.0 m

指定避難場所

新発田市立佐々木中学校

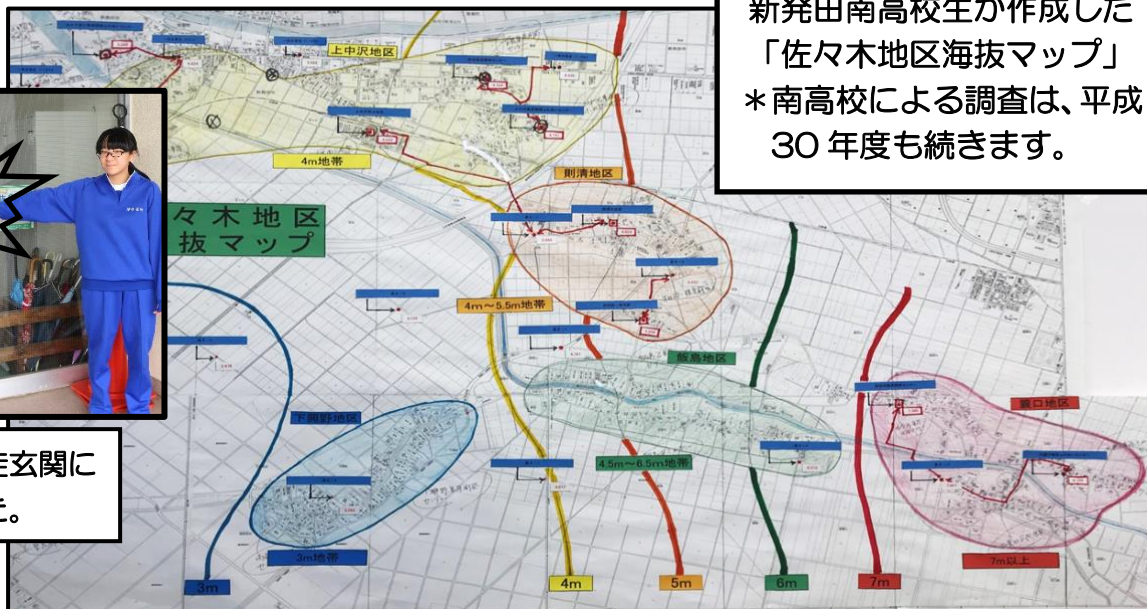
新潟県立新発田南高等学校土木工学科

女子 IS 私は、佐々木に 15 年間住んでいますが、南高校生のみなさんのプレゼンテーションを聞かせていただいて、たくさんのことを学ぶことができました。私の住む下興野は海拔 3 m という地域なので、水害などに見舞われそうになったときには、正しい情報に基づいて、すぐに避難できるようにしたいです。

新発田南高校生が作成した
「佐々木地区海拔マップ」
*南高校による調査は、平成
30 年度も続きます。



ステッカーは生徒玄関に掲示しました。



3年生へのプレゼント

昨年6月に、佐々木中学校での平和講演会で講師を務められた Y さんからお便りをいただきました。Y さんはご自身の被爆体験を語り継ぐ活動を約 20 年間続けておられます。Y さんからの郵便物を見ると、右下の写真のようないわさきちひろさんのイラストが入った一筆箋（いっぴつせん）が入っていました。

17歳の時に、広島に投下された原子爆弾で被爆した Y さんからは、「世界の人と仲良くし、将来は日本の発展のために尽くしてほしい」「グローバルな世界で生きてくために学問を積んでください」とこれからの平和な社会を担う中学生に、平和への思いを語っていただきました。

今回、Y さんからの郵便物が届いた後で、お礼のあいさつを届けたところ、Y さんからは、「佐々木中の生徒のみなさんには、一生懸命に私の話を聞いてもらい、帰り際には元気な女子生徒さんから明るい笑顔で見送っていただきました。ありがとうございました。」「3年生のみなさんには、中学校を卒業してからも、平和の大切さを守り、日本や世界の発展のために活躍する人として成長してほしいです。」とのお言葉をいただきました。

3年生は、思いがけないプレゼントが届き、クラスで撮影した写真を、笑顔と一緒に Y さんにお届けしました。

YR Y さんからいただいた一筆箋に描かれているいわさきちひろさんの絵が大好きになりました。届いた一筆箋は数種類あり、すべてにちひろさんのイラストがプリントしてあったので、全ての種類が欲しくなりました。

GM かわいいイラスト入りの一筆箋がとても気に入りました。ちょうど、手紙を書くところだったのですぐに使ってみました。ありがとうございました。

IA いわさきちひろさんの絵本が以前から大好きで、私も絵本をもっているのですが、Y さんからいただいた一筆箋を大切に使っていききたいと思います。

◎3年生は、3月9日（金）に卒業式を迎えます。みなさんの今後の活躍を楽しみにしています。（6月に開催された Y さんによる講演会については、「学校だより 7月号」でもお伝えしました。）

